

令和3年1月の自殺者数は、前月比では、北海道、全国（男性）において増加、全国、全国（女性）において減少でした。都道府県別では、自殺者数が増加したのは19、減少したのは27、変化なしは1でした。

2. 令和3年1月末と令和2年1月末の月別自殺者数の比較

 令和3年1月<北海道 74人、全国 1,646人、全国(男性)1,121人、全国(女性) 525人>
 令和2年1月<北海道 71人、全国 1,686人、全国(男性)1,189人、全国(女性) 497人>
 前年比 <北海道 +3人、全国 -40人、全国(男性) -68人、全国(女性)+28人>

前年同月比では、北海道、全国（女性）において増加、全国、全国（男性）において減少でした。また、都道府県別でみると、自殺者数が増加したのは19、減少したのは27、増減なしは1でした。

◇令和元年北海道内の保健所管内別自殺者数（確定値）◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

今回は、「地域における自殺の基礎資料」（自殺日・住居地集計、北海道地域自殺対策推進センター算出）より令和元年の北海道内の保健所管内別自殺者数および前年比をまとめます。表中にある（ ）は前年比です。

（人）

全国	19,974 (-694)	北海道	949 (-16)		
札幌市	350 (+26)	市立函館	53 (-6)	旭川市	72 (+27)
小樽市	16 (+2)	渡島	20 (-4)	八雲	6 (-2)
江差	7 (+1)	江別	25 (-11)	千歳	30 (+4)
倶知安	15 (-6)	岩内	6 (+2)	岩見沢	31 (-8)
滝川	18 (-1)	深川	11 (+2)	上川	7 (0)
名寄	12 (+2)	富良野	9 (-2)	留萌	6 (-9)
稚内	9 (-7)	網走	12 (0)	北見	35 (+12)
紋別	18 (+8)	室蘭	29 (-4)	苫小牧	29 (-24)
浦河	6 (+3)	静内	9 (-4)	帯広	49 (-15)
釧路	37 (-10)	根室	5 (0)	中標津	17 (+8)

令和元年中の北海道における自殺者数は949人、前年比16人の減少でした。保健所管内別で見ると、前年比増加が12、減少が15、増減なしが3でした。

北海道は広く、気候や風土の違い、地域差、各関係機関の連携など難しい面も多々ありますが、互いに協力し合い歩調を合わせた対策を取っていくことが望まれます。

参考文献

厚生労働省、「地域における自殺の基礎資料」

【2】自殺について知ろう・・

◇前期高齢者層における自殺をめぐる状況[令和2年版自殺対策白書]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
 前回の Andante では、『令和2年版 自殺対策白書』の「第2章 自殺対策の基本的な枠組みと中高年、高齢者の自殺をめぐる状況」の中から「第二節 中高年層における自殺をめぐる状況」についてご紹介しました。

今回は前回に引き続き、「第2章 自殺対策の基本的な枠組みと中高年、高齢者の自殺をめぐる状況」の中から「第三節 前期高齢者層における自殺をめぐる状況」についてご紹介したいと思います。紙面の都合上、一部修正、抜粋する形となりますので、より詳細な内容については本書の方をご参照下さい。

1. 平成21年以降の前期高齢者（65歳～74歳）における自殺者数及び自殺死亡率について
 自殺者数の推移をみると、平成21年の4,697人がピークで以降減少傾向が続き、令和元年は2,990人となっています。この間1,707人（36.3%）の減少となりました。

平成21年以降の前期高齢者の自殺死亡率の推移をみると、平成21年の30.7から令和元年は13.5ポイント低下の17.2となっています。平成21年の前期高齢者の自殺死亡率は全体の自殺死亡率と比べ5.1ポイント高く、平成24年、平成25年に5.3ポイント高くなったのをピークに、令和元年ではその差は1.4ポイントまで小さくなり、前期高齢者においても自殺死亡率の改善の大きいことがわかります。

（単位：人、（ ）内自殺死亡率）

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
全体	32,768 (25.6)	31,581 (24.7)	30,608 (23.9)	27,809 (21.8)
前期高齢者	4,697 (30.7)	4,599 (29.8)	4,322 (28.7)	4,229 (27.1)
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全体	27,215 (21.4)	25,418 (20.0)	23,964 (18.9)	21,870 (17.2)
前期高齢者	4,345 (26.7)	4,171 (24.4)	4,014 (22.9)	3,549 (20.1)
	平成29年	平成30年	令和元年	
全体	21,286 (16.8)	20,820 (16.5)	19,974 (15.8)	
前期高齢者	3,437 (19.5)	3,241 (18.3)	2,990 (17.2)	

2. 平成21年以降の前期高齢者における自殺の原因・動機について

平成21年以降の前期高齢者の原因・動機の推移をみると、健康問題が多くを占めていますが、平成21年をピークに減少傾向にあり、令和元年は平成21年の3分の2弱となっています。経済・生活問題及び家庭問題については、それぞれピーク時から4～5割減少しています。勤務問題は、50～80人台で横ばいで推移しています。

原因・動機の小分類について、前期高齢者男性全体では、第1位が身体の病気、第2位がうつ病、第3位が生活苦となりました。前期高齢者女性全体では、第1位がうつ病、第2位が身体の病気、第3位がその他の精神疾患、第4位が統合失調症と健康問題が上位を占めています。

(単位：人)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
家庭問題	607	675	610	601	567	589
健康問題	2,897	2,883	2,531	2,554	2,701	2,640
経済・生活問題	835	777	686	559	555	560
勤務問題	78	66	70	68	57	80
男女問題	20	15	31	20	26	15
学校問題	1	0	0	0	0	0
その他	228	189	253	223	206	205

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
家庭問題	609	500	455	422	398
健康問題	2,515	2,275	2,135	2,009	1,911
経済・生活問題	596	442	496	452	424
勤務問題	84	63	59	67	82
男女問題	17	14	23	12	6
学校問題	0	0	0	0	0
その他	199	182	210	157	126

前期高齢者の自殺についてまとめると、中高年と同様、前期高齢者の自殺も大きく減少していることがわかります。前期高齢者の原因・動機別の自殺は中高年と異なり健康問題が3分の2を占めており、それを除けば生活・経済問題及び家庭問題が多くなっています。いずれも大きく減少していますが、経済・生活問題及び家庭問題の減少幅が大きくなっています。また、中高年以下と異なり、健康問題の中で身体の病気が多く、特に男性では1位となっています。また、家庭問題の中で孤独感、家族の死亡が上位を占めている点が異なります。

今号は、「第2章 自殺対策の基本的な枠組みと中高年、高齢者の自殺をめぐる状況」の中の「第3節 前期高齢者層における自殺をめぐる状況」についてご紹介しました。紙面の関係上、男女別や職業別、65～69歳と70～74歳の比較といった分析は省かせていただきました。これらの分析も非常に興味深いものとなっています。興味のある方は是非本紙の方をご参照ください。次号は、連載の最後となる「第4節 後期高齢者層における自殺をめぐる状況」についてご紹介したいと思います。興味のある方は是非楽しみにお待ちしております。

参考文献

厚生労働省、『令和2年版 自殺対策白書』、2020

【3】お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日 9:00～21:00

土曜日曜祝日（12月29日～1月3日を除く） 10:00～16:00

Tel : 0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ ホームページをご覧ください

北海道地域自殺対策推進センターのホームページを開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。また、Andante のバックナンバーへのリンクもございますので是非ご覧ください。

パソコンホームページ URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

【4】編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

北海道はまだまだ寒い日が続いておりますが、たまに暖かい日があり雪が溶ける日も出てきました。

さて、例年通りですと、警察庁「自殺統計」の令和2年の確定値が3月の自殺対策強化月間に合わせて公表されます。それらの数値についてはAndanteでも逐次ご報告させていただきますので楽しみにお待ちください。なお、上記の「お知らせ」にあります北海道地域自殺対策推進センターのHPで掲載している自殺の動向をまとめた各種資料についても合わせて更新を進めて参ります。是非ご活用ください。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.141 は、令和3年3月末に配信予定です。

お問い合わせ先

北海道立精神保健福祉センター
札幌市白石区本通16丁目北6番34号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp